

ご挨拶



就任のご挨拶

服部 登 医歯薬保健学研究科 医歯薬学専攻
医学講座 分子内科学 教授

平成29年2月1日付けで、河野修典教授の後任として広島大学大学院医歯薬保健学研究科分子内科学教室の教授に就任いたしました服部 登です。前身である第二内科時代から呼吸器内科を専門とする教授が4代続いてまいりましたが、私とその5代目の教授になったところでもあります。私は昭和62年に京都大学医学部を卒業し、京都大学胸部疾患研究所肺生理部門に入局した後、京都大学大学院では免疫学の基礎的研究を行って学位を取得いたしました。その後、福井医科大学（現福井大学医学部）にて病理学を学び、米国ミシガン大学では肺線維症の研究に従事した経験を経て、平成17年4月から現教室の一員になりました。広島大学では一貫して肺がんや肺線維症などの難治性疾患の病態を解析するとともに、それらへの新規治療戦略の開発を目指した研究を行ってまいりました。

分子内科学教室は現在呼吸器内科と内分泌・糖尿病内科を専門とする医師から構成されています。その教室を担当させていただくにあたり、私が果たすべき使命は3つあると考えております。一つ目は地域医療を支える良医を育成することであり、二つ目は実臨床への応用を目指す研究成果を世界に発信すること、そして三つ目が医学生及び大学院生教育を一層充実化させることでもあります。今までにもこれらの点を意識しながら活動していましたが、その働きかけを一層強化したいと考えておりますので、今後とも皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



就任のご挨拶

丸山 博文 医歯薬保健学研究科 医歯薬学専攻
医学講座 脳神経内科学 教授

平成29年2月1日付けで、松本昌泰先生の後任として第4代の広島大学大学院脳神経内科学教授に着任いたしました。

私は平成2年に広島大学医学部を卒業し、広島大学病院での内科研修の後、当時中村重信先生が主宰されていた内科学第三に大学院生として入局しました。川上秀史先生（現在は原爆放射線医科学研究所分子疫学教授）のご指導の元、神経変性疾患の遺伝子解析についての研究に取り組んできました。原医研の川上教室在任中の平成22年には多くの研究者のご協力をいただき、筋萎縮性側索硬化症の原因遺伝子オプチニューリンを同定し、Nature誌に発表することができました。一般診療以外の臨床面では遺伝子診療部やてんかんセンター、日本脳卒中協会広島県支部、難病対策センター（広島県・市の委託事業）においても活動しております。

我が国は超高齢社会に突入し私たちが担当する脳血管障害・神経変性疾患への治療ニーズや重要性が増加しています。これまで広島大学脳神経内科学教室は、地域の医療に貢献するとともに、広島大学から世界に雄飛する人材を育成してきました。大学の使命は臨床・教育・研究をバランスよく行うことです。このバランスが取れるように目配りしながら神経疾患の克服を目指して参ります。今後とも皆様のご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。